

## 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング

桂小学校区（議事概要）

開催日時：平成21年9月13日（日）午後2時00分～3時30分

開催場所：桂青少年会館 視聴覚室

参加者数：19名（男性12名、女性7名）

市出席者：田中市長、原副市長、中原教育長、野村水道事業管理者

配布資料：

- ① 平成21年度八尾市の未来を語るタウンミーティング資料（パワーポイント内容）
- ② タウンミーティングでのご意見への対応状況について（平成20年度）
- ③ 桂小学校区地域レポート
- ④ 市政運営方針（平成21年度）
- ⑤ がんばれ八尾応援寄附金案内チラシ
- ⑥ 路上喫煙防止に関するチラシ
- ⑦ 住宅用火災警報器設置に関するチラシ
- ⑧ 救急車の適正利用等に関するチラシ

1. コミュニティ推進スタッフ（司会）から昨年度のタウンミーティングの状況、地域レポート説明、地域での活動状況等の紹介

2. 市長から市政運営、次期総合計画の構成等についての説明：パワーポイント（配布資料①）

3. 意見交換

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 （平成21年10月現在）
① 人権課題について ○ 中高生を中心に反差別集会やふれあいフェス	○ 反差別集会を含め様々な取組みをしていた	○ 八尾市では、市民や地域、事業者等とともに、

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>ティバル等を通じてあらゆる差別をなくそうと取組みを行っています。しかしそういった取組みにも関わらず差別落書きや土地調査、戸籍の不正取得の実態があります。この地区だけではなく、市全体で差別をなくす八尾市にするための取組みをしていけないでしょうか。あらゆる地域の地域別計画で差別をなくす取組み等を盛り込むことによって一歩踏み出すことになるのではないのでしょうか。</p>	<p>いていることに感謝します。総合計画では基本理念において「人権」を掲げています。次期総合計画についても庁内で議論を行っていますし、市民懇談会においても人権と福祉という視点で提案をいただいています。「人権」「福祉」「環境」はすべての施策の中で推進をするべきではないかという議論をしているので様々な意見を頂きたいと思います。</p> <p>○ 差別事象については、相手が特定できているものについては対応をしていますし、これからはもしっかり対応していきたいと考えています。</p>	<p>差別を許さない取り組み等を全市域で展開する仕組みづくりを進めています。</p> <p>現在は、八尾市人権啓発推進協議会等の市民の主体的な活動をはじめとして、全地域での取り組みを進めているところですが、今後も、市民や地域、事業者等とともに、さまざまな機会を通じて、人権尊重の大切さを共有し、人権意識の向上に向けてより一層の取り組みを進めてまいりたいと考えています。</p>
<p>②-(1) 人権問題について</p> <p>○ 差別等に対する取組みとして、保育所での生活発表会、小学校の人権学習発表会、中学校での文化祭等が開催されていますが、たくさんの方が見に来れるように土曜日や日曜日に来れないでしょうか。また、最終的には5年に1度とか7年に1度でも人権と差別に関する取組みを子どもから高齢者まで地域の各施設が一堂に会して開催して周辺地域にも取組みを知らせることが出来ないでしょうか。</p>	<p>○ それぞれの発表会等を通じて人権や差別に対する取組みがされ、うれしく思います。それぞれの成り立ちはありますが、一緒に出来るものは一緒にしてはどうかと思っています。人権という括りだけではなく色々な分野での連携が出来るのがこれからの地域のためになっていくのではないかと考えています。</p>	<p>○ 八尾市では、人権意識の向上を図ることを目的として、ひゅーまんフェスタをはじめとした催しや研修会等を実施しているところであり、さまざまな世代の人により多くご参加いただけるよう工夫してまいりたいと考えています。</p> <p>○ 学校行事については、年間計画として各学校において決定されているものであり、教育課</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
		<p>程の編成権限は学校長にありますので、ご理解いただきますようお願いします。</p> <p>○ 保育所の生活発表会については、日々の子どもの健やかな成長を見守る趣旨で開催しており、多くの保護者にご参加いただけるよう土曜日の開催としております。</p>
<p>②-(2) 住宅問題について</p> <p>○ 店舗付住宅がほとんど閉まっている状況です。地域内で買い物をする場所がない中で何とかできないでしょうか。地域には住宅まちづくり協議会がありますが、どのように進めていけばよいのでしょうか。</p>	<p>○ 地域のまちづくりについては住宅まちづくり協議会等、地域にも協力を頂きながら議論をしているところですが、過去の計画の見直しをかけながら進めていかなければならないと考えています。地域に公的住宅が多いこともあり、行政が主体的になって地域と話を進めていかなければまちづくりが進んでいかないと考えています。</p>	<p>○ 店舗付住宅については、休業店舗が増加していることから、既存の建物を有効活用することが望ましいと考えており、今後、店舗のルールを明確にした上で必要な対応を進め、空き店舗の有効活用を進めてまいります。</p>
<p>②-(3) タウンミーティングでの職員数について</p> <p>○ 今日のタウンミーティングに地域の間があまり来ていないのは市の職員が多すぎるからではないでしょうか。もっと地域の間が話をしやすい環境にするべきではないでしょうか。</p>	<p>○ それぞれの担当部局の職員が市民の意見を直接お聞きして受け止めることが大事であると考えています。後に文書になっているものを読むのと会場で直接意見を聞くことのニュアンスの違いもありますので、ご理解頂きたいと思います。</p>	<p>○ 地域の意見や実情について、職員自らが会場に直接伺い、より地域の実情に応じた地域別計画の策定をすることを目的にしていますので、ご理解の程よろしくお願いたします。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>③-(1) 地域別計画について</p> <p>○ 最初に市長から説明があった地域別計画について、市長のマニフェストの中で地域に予算の何%かを下ろすような話もありましたが、どこまで踏み込んだ計画になるのでしょうか。</p>	<p>○ マニフェストでは予算の1%を市民からの提案や公募などによる施策のために使うということを書いています。現在地域別計画と地域別予算の関わりについて庁内で議論を進めています。初めから全てを配分するというものでもありません。</p> <p>地域別計画についてはA4、4ページ程度で、出来れば小学校区又は中学校区単位で作成していきたいと考えており、内容については現在詰めているところです。</p>	<p>○ 地域別計画につきましては、小学校区あたりA4・4ページ程度で、行政で策定を進めています。地域の概要や取り組み・今後進めていくまちづくりの方向性等を紹介していく予定です。来年度には、策定しました地域別計画(案)を地域のみなさんにお示しし、ご意見を伺う予定にしています。また、平成23年度以降につきましては、地域別計画に基づいて、(仮称)わがまち推進計画を地域のみなさんが主体となって策定していただけるよう、支援を行っていく予定です。ご質問の予算につきましては、現在のところ制度や内容について検討しているところです。地域のみなさんにとって使いやすい制度となるようにしていきたいと考えています。</p>
<p>③-(2) 公的住宅のあり方検討について</p> <p>○ 地域のまちづくり協議会と行政との話合いの中で、住む側の意見を入れながら改善工事、建替工事を進めています。この地域は高齢化率が高いことや、小学校の児童の数が少ないという実態がある中、教育の視点や福祉の視点を入れながら、どんな建物を建てていく</p>	<p>○ 市営住宅の1号棟から5号棟の建替えについては本来今年度着手の予定でしたが遅れています。西郡地区については住宅が51棟あるなかで全体的なプランニングが出来ていません。行政と地域で意見を出しあって計画を作り上げていきたいと考えています。その中で</p>	<p>○ 市営住宅については、現在、機能更新事業計画の見直しを行っており、少子高齢化等への対応や、地域の将来のまちづくりを踏まえた検討を行っております。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>のかということを考えていくことが大事ではないでしょうか。</p>	<p>福祉、教育の視点も入れていければと思っています。これからも担当課、地域の人達と話をしていきたいと考えています。</p>	
<p>③-③) 地域子育て支援センター事業について</p> <p>○ 八尾市内で5つの保育所が地域子育て支援センター事業を行っていますが、国の補助制度の変更等により廃止になるのではないかと心配しています。事業立ち上げの際は地域から行政に働きかけをした経過もあります。この事業を行って来て成果があり見直しを行うのであれば納得できるのですが、そのあたりがないままに行財政改革アクションプログラムにおいて見直しとなっていることについて見解を伺いたいです。</p>	<p>○ 行財政改革アクションプログラムについては310項目ほど挙げており、改善に向けて進めていくこととしています。子育てについては小・中学校の適正規模等審議会、児童福祉審議会、幼稚園審議会等を同時に進めており、その中で支援を考えていきたいと考えています。八尾市の子育てに関する方向をしっかりと見定めて、必要な事業は進めていきたいと考えています。</p>	<p>○ 「地域子育て支援センター事業」は、平成19年度の国の補助制度の変更により、「地域子育て支援拠点事業」として整理され、これまでの「子育て支援センター」事業としては、見直しせざるを得ない状況となっています。</p> <p>その一つとして、本市では地域子育て支援拠点「つどいの広場」を中学校区に1箇所設置するなどし、地域での子育てを支援する場づくりに取り組んでいます。市民団体等に運営していただいております。既に9箇所設置しています。私立保育所2ヶ所の「地域子育て支援センター」は、次年度から「つどいの広場」として地域での子育て支援事業を進めていくことになっています</p> <p>これまでも「地域子育て支援センター」の他に、市では様々な子育て支援に関する事業を実施していますが、地域では、民生委員児童委員会や地区福祉委員会により、「子育てサロン」や「はとぼっぼ」などの地域で子育て</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
		<p>を支援する取組みも進んでいます。</p> <p>現在、八尾市児童福祉審議会の開催や次世代育成支援行動計画前期計画の評価を実施していることもあり、「地域子育て支援センター」も含め、わかりやすい子育て支援の体系化について再検討をしています。早急に方向性をお示しできるよう努めているところです。</p>
<p>④-(1) 敬老祝寿式について</p> <p>○ 毎年プリズムホールで行われている敬老祝寿式のお手伝いをしていますが、なかなか参加者が少なく何とかならないかと思っています。市から各高齢クラブに5万円の支給がありますが、記念品や饅頭を出すにしても5万円では足りません。一律5万円の支給では会員の多いクラブと少ないクラブでは差が出るので考えて欲しいです。</p>	<p>○ 敬老祝寿式については改善策がないか議論をしています。高齢クラブへの5万円の支給については50人以上という規定がありましたが撤廃をしてももう少し小さいクラブでも支給できるように今年度改善しました。また、1地域5万円がよいのか人口で割り振るのがいいのか、改善できるところはしていきたいと考えています。</p>	<p>○ 敬老祝寿式については、現状より多くの方に参加してもらえよう工夫していきたいと考えています。</p> <p>○ 八尾市高齢クラブ連合会の各単位クラブへの支給単位は50人以上でしたが、今年度その規定を緩和しました。また、地区高齢クラブ連合会が地区敬老祝寿事業を実施いただく場合、上限5万円まで支出しています。この制度設計については今後も検討を加えるなどして、より良いものにしたいと考えています。</p>
<p>④-(2) 文化祭について</p> <p>○ 先ほども文化祭の話が出ましたが、人権コミュニティセンター、老人福祉センターでも行っています。たくさんの方に見に来ていただ</p>	<p>○ 文化祭については、一緒に出来るのであれば子どもたちとの交流が出来て、双方にとって良い方向になるなど、より良い地域のまちづ</p>	<p>○ 文化祭＝人権コミセンまつりを毎年3月に開催し、センター講座生の作品展示や舞台発表だけでなく、子ども広場やお茶会、パソコン</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>いており、地域の保育所や小学生、中学生をお茶会に招待しています。こういった取組みは続けていきたいのでこれからもよろしくお願ひします。</p>	<p>くりになるようお願ひしたいと考えています。</p>	<p>体験、バザーなど地域の子どもから高齢の方々まで気軽にお越し頂き、交流しながら普段の活動を知ってもらっています。</p> <p>今後とも、地域の方の学びと交流の場として続けていきたいと考えています。</p> <p>○ 老人福祉センターでは様々な講座があり、文化祭は参加者が取り組み成果を披露し、かつ楽しんでいただく機会となっています。今後も高齢者の生きがいがいづくりの一環として継続していきたいと考えています。</p>
<p>⑤ 町会の加入や担い手について</p> <p>○ 世帯数が減ってきて役員等の担い手が少なくなっています。古い住宅が取り壊され、賃貸住宅になれば管理会社があり、若い住民が多いことからなかなか町会に入っただけません。強制的にと言う訳にも行かず、将来町会がどうなるのか不安、心配です。</p> <p>町内には工業関係の方もおられますが、清掃や防犯灯については協力いただき感謝していますが、それ以上のつながりはありません。</p>	<p>○ 町会加入率が年々下がってきており、自治振興委員、町会長さんにはご苦勞をかけています。現在町会に加入していない方への市政だよりやごみ袋の配布は出張所等で行っていますが、加入するきっかけ作りとして八尾市で配らずに町会で配らせて欲しいという提案も頂いており、様々な取組みを考えていきたいと思ひます。</p>	<p>○ 町会加入世帯及び町会加入率は年々減少傾向にあります。安全で安心な住みよいまちづくりにとりまして、隣近所とのつながりを広げ深めることは重要な要素であり、町会への加入はその第一歩となるものと考えています。町会加入世帯の増加を図るため、八尾市といたしましても、八尾市自治振興委員会と連携しながら様々な施策を講じているところですが、町会に加入することの意義を認識し、町会に加入していただける方々が少しでも増えるよう今後とも努力してまいりたいと考えています。</p>

市民のみなさんからのご意見	市長説明	対応状況と今後の方向性 (平成21年10月現在)
<p>○ 町会が維持できないとなれば近隣町会との合併も一つの方法ではないかと思っています。</p>	<p>○ 町会の合併については新たな提案をいただきました。自治振興委員会とも話をしていきたいが、より多くの人達で地域を支えるということも大切であると思っています。</p>	<p>○ 町会加入世帯が減少することにより町会の維持・運営が困難となった場合の対処方法の一つとして、隣接町会との合併が考えられます。合併に際しましては、当該町会内はもとより相手方町会の合意が必要となりますが、両町会どうしで合意に至りましたら、地区自治振興委員長さんにご相談いただきますようお願いいたします。</p>